

親子、クイズで「食」理解

岐阜市でJ Aフォーラム

クイズやリトミックを通じて、楽しみながら食物や農業に理解を深める「親子で楽しむJ A食農フォーラム」が23日、岐阜市学園町



食農教育を取り入れたリトミックを披露する親子ら。岐阜市学園町、ぎふ清流文化プラザ

で開かれた。J A岐阜中央会が安全で安心して食べられる国内産や県内産の農畜産物をアピールし消費拡大につなげようと企画。幼児や保護者ら約200人が訪れた。

料理家栗原友さんは「母から子へ伝えたい食」と題して、おせち料理を娘に作ってやりたいと願って、母親から調理法を教わった体験を話した。同会の若手職員はスイカ1玉の種を数え上げたり、牛乳パックなどを使って炊飯に挑戦したりしたプロジェクトの成果をクイズで紹介した。

のぎふ清流文化プラザで開かれた。

リトミック教室「わおんのいえ」による食農教育を取り入れたステージもあり、2、3歳児と母親らが音楽に合わせて熱演。来場した子どもも参加して盛り上がった。(小森直人)